

001	そんなポンコツなあなたがだーい好き！
002	君の速さで歩(ゆ)けばいい。
003	恋し、結婚し、母になったこの街で、おばあちゃんになりたい！
004	おなじ 空を ぼくは 見ている
005	みーんな、すっぴん えがお。
006	マドンナなら ここにおるやん あなたの前に
007	あなたにとって他人でも、みんなだれかのだいじな人です。
008	あせるな、いばるな、おこるな、まけるな。
009	明日は アタシの 風が吹く！
010	もう少し、一緒に歩いて いいですか。
011	ありやまー！ こりやまー！！ まっちゃんー(松山)！！！！
012	いろんな子 いっぱいおって かまん！ かまん！
013	おーい！！なかむらくーん！！私の声 届いてる？
014	笑顔に まさる 化粧なし
015	「ありがとう」で 心が まんまる。
016	口はさいわいのもと
017	「ひとり」でも。「ひとつ」でも。
018	正面衝突したら 父の胸は エアーバッグだった！
019	私は群れないイワシです
020	始まりはいつも小さい
021	四季のある国 子規のいる街
022	心のパンツを脱ぎなさい。
023	「きょう、空を見ましたか？」
024	暖かい気候 暖かい人々 私、暖かい人になりたい
025	おかえり ちょっと疲れた私に お城のあかりがわらってた
026	あなたの声が心にひびく あなたの笑顔が心をひらく
027	どんな名医より、どんな特効薬より効く あなたの言葉。
028	おかあさんのこと ティラノザウルスぐらいだあいすき！
029	ことばのばかちから！
030	正しい答えは ひとつじゃないよ
031	ため息の数だけ、幸せが逃げちゃうよ
032	ひとつのことばでけんかして ひとつのことばでなかなおり
033	わらうと からだが あったかあい
034	生きてるだけで 丸もうけ
035	みんな違う、だからすばらしい。
036	くよくよしてもいいよ
037	何ぞなもしもし？
038	やさしい ことばが見える 手のひらの ケイタイ
039	ありがとう。すいません。わたしのすきな にほんの ことば
040	ことばは心の色えんぴつ
041	おとうさんはスカンク。おかあさんはライオン。

042	口から先に 生まれました。
043	口から おまかせ！
044	「見えなくても足跡は残っているよ」
045	子供を小さな大人にしないで
046	頭から出ることばはいらないよ。心から出たことばがほしいんだ。
047	だれよりも 苦しんだ君は だれよりも人の心が わかる君だ
048	君には君だけの良さがある。
049	言葉にも温度があるよ。熱すぎず、さむすぎず。
050	ありがとう ごめんね 父の背中と母の胸
051	やさしい気持ちで接すると 四角いことばも丸くなる。
052	わすれないでネ おたがいさまと おかげさま
053	“こころ”があって“ことば”が生きる
054	私に当たった宝くじ 1等がダンナで、前後賞は3人の子供たちです！
055	思いやりですべての道がバリアフリー
056	素直じゃない私から素直な気持ちを贈ります あなたの娘でよかった
057	とりあえずでもええ とにかくでもええ やってみい
058	子供の笑顔がビタミンです。
059	自分を好きで いてください 私を好きで いてください
060	イイことはなくても イイことはできる。
061	友達がいなければ友達になればいいだけだよ。
062	笑ったら心が軽くなったよ あなたも笑ってごらん。
063	貴方がいてくれて良かった！
064	気にせられん だいじょうぶよ
065	「ありがとう」と言う時、くちびるは、一番美しい形になる。
066	おかあさんは、しんごうき。
067	いつも元気を ありがとう 私も誰かに おすそ分け。
068	言葉は 心からわき出た 温泉です あったかいよ
069	お褒めいただき公営です。道後温泉本館
070	気づくと、好きな人と同じ しゃべりかた
071	すねないで でてきなさい！
072	子規さんと キャッチボール、してみたい。
073	ぼお一つとさせて。
074	伝えなきゃ 伝わらない
075	音痴は心で歌いきれ
076	パパのおててめいろだね
077	友達が大切だから、僕は勉強より遊びの方をとってしまう。
078	立ち止まって 空を見上げてごらんよ
079	駄目に終わった奴も、挑戦しなかった奴よりは、ずっといい
080	初顔の 心和ます 伊予訛り
081	感謝のことば みつつほど「おおきに」「だんだん」「ありがとう」
082	「ぼちぼち いこか！」

083	虫はいいなあ 給食食べなくて いいんやもん…。
084	道後には 知恵と温泉が 湧くぞなもし
085	お父さん気が付いて。新しい洋服着てること髪を短く切ったこと。
086	あたしは うれしいとき ねこのしっぽがでるようなかんじがします。
087	ともだちは ぼくの たからものです。
088	かっこう悪いと思っていることは、けっこうかっこいいんだよ。
089	いいことを したら心が ポッカポカ！
090	いま どこ？ 信じていい？
091	でっかい歯車に なってやる！
092	松山は ワシが守る！
093	他人になるな、自分になれ！
094	ちんちん電車に揺られていたら、十年前の自分と出会った。
095	みんな誰かの宝物。
096	言わなくてもわかる 言うともっとわかる
097	なにも芽が出ない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ
098	明日も一緒に喧嘩しようよ。
099	言葉は心のホスピタル
100	一生懸命！は、少しつかれる時もある。
101	新しく、私らしく、あなたらしく
102	「大丈夫」って言うしてみる。
103	頑張らなくてもいい楽しんでおいで
104	ここはダメとわかってて 置くのって、良心痛みませんか？
105	いつも優しい言葉が出るように いつも優しい心でいたい。
106	恰好悪い努力はいつも「カッコイイ」
107	大丈夫！！ちゃんと見てるから。
108	「ありがとう」を素直に言える あなたが好き
109	地球のからだは、私のからだ。
110	ゴミをポイ。あなたもポイ。
111	たん塩で焼いても喰えねえ 政治家の二枚舌
112	赤ちゃんは 体全部で 話してる。
113	1人じゃない みんないるよ
114	蛇口をひねっても ポンジュースは 出ません。
115	あなたも、坊っちゃんになれる町です。
116	大切なものは、ここにある。
117	よお〜に、ぬくもつといきや
118	わかりだしたら、かわりは始める。
119	君を信じるのに理由なんかない
120	あたためますか？
121	言ったじゃないかと夫 全く聞いてませんと妻 喧嘩も愛も、言葉から
122	縁の下の力にて 支えられて今生きる。
123	いるだけで力

124	かあさん かいじゅうに なっても だいすきだよ
125	土の香りの小包 おばあちゃんだ！
126	自分の心に ほめられた
127	ライバルは竹ばくん だけど いっしょにあそぶ
128	みみずと いっしょに たうえをしたよ
129	しかられた 犬がほっぺを なめにきた！！
130	ぼくと おじいちゃんは そっくりです
131	ぼくが ちきゅうを あらってあげる
132	お花さん たまにはおちゃでも どうですか？
133	空は 毎日美術館
134	あひるのかたちの じゃがいも みつけたよ
135	えがお きらきら わらいごえ ころころ
136	じいちゃん 100さい しわ100ぽん
137	じいちゃんの きゅうりは まがってる
138	しきさんとはいくのしょうぶを してみたい
139	だいすきなパパ ビールのむ顔 いつもタコ!!
140	ひまわり によきによき ぼくは ぐんぐん
141	プールでね 1234 もぐりっこ
142	ままにひつつくと たのしいきぶんが する
143	ママのじてんしゃの うしろは ボクのもの！
144	あなたの心 ひらいてる？
145	いぬがなめるから いっぱい あそんであげる
146	いびきがうるさい パパのねがおに チュー！
147	いもうとが「できたよ」って しゃべったよ
148	おそらのおとうさん おりてこい！
149	おばあちゃん でん話するより あいたいな
150	きこえない？ けど笑ってくれる 曾じいちゃん
151	しあいでかったよ
152	つかれたら ぼくにまかせて おわらいたんとう
153	長くても みじかくても わたしのえんぴつ
154	ながれぼし そっときいてて ねがいごと
155	ばあばのびょうき たこにのって とんでいけ
156	はよねるけん 本読んで！
157	お母さん たまにはえ顔で しかってよ
158	お仕事の お父さんに会えて うれしかった！
159	お父さんの ギュー すきなんよ
160	きょうだい なんでも 3とうぶん
161	ゆうやけを見る おかあさんの よこがお
162	お父さん 仕事つらいね かたももか
163	昨日も虫！ 今日も虫！ 明日も虫？ ぼくの夏！
164	このすいか つくってくれた人の かお！

165	その一言が 勇気の キャッチボール
166	ただのねこ ぼくにとっては だいじなねこ
167	「よう来たね」聞こえてきそうな 祖母の声
168	わらってごらん きっと いいことがあるよ
169	会いたくて 自転車とばして 行って来た
170	妹の小さな手 やさしくなれる 魔法の手
171	おいしい野菜 じいちゃん作！！
172	お母さん お母さんて 一日に何回言うかな
173	お母さんの手 いたいとこさすると まほうの手
174	かんさつでは ぼくは ファーブル以上！
175	なんでも 作れるんだね おばあちゃん
176	いよかんに じいちゃんのあせ 光ってる！
177	おばあちゃんが 入れ歯飛ばして 大笑い！
178	ごえもん 帰ってくると よろこぶ しっぽ
179	力のはじける 母の味
180	東京で 伊予弁しゃべって 何が悪い！！
181	「パシッ」と快音 サービスエース！
182	ピカソはピカソ 私は私
183	実咲「いっしやい」って 言うけど 本当は二才
184	よれよれの ランドセル 後もう少し がんばって
185	六年生になっても 手をつないでね お母さん
186	私の笑顔は おばあちゃんの力！
187	一秒を大切にしたい すぐにおわるけどね
188	「一緒」って いい言葉やね
189	いない時に 気付いたよ
190	うれしい気持ちが 地球をひとまわり
191	心のピースを 組み立てる
192	こんにちは ちっこいちっこい 小さな命
193	私のあこがれ 大好きな母ちゃん！
194	ひっこめビルたち 出てこい「自然」
195	新しい世界が見える 本の山
196	暑い夏 セミは 小さな応援団！
197	あなたのヘソクリ 大好きです
198	梅干し食べて おばあちゃんと 同じ顔
199	お弁当 冷たいけれど あったかい
200	音楽は 空とか海とか 空気とか そんな存在
201	このまんま ずっと 一緒におれたら ええなあ
202	「どうしたの？」の 一言ありがとう
203	兄い兄い 東京の風に 潮の香りは ありますか
204	姉ちゃんへ いつもいいボケ ありがとう
205	20才になったら かんぱいしよう お父さん

206	みんなおるけん 大丈夫やしっ！
207	朝おきて あなたのかおが あたまにうかぶ
208	汗と涙は 洗たく済みだ 泥染みのユニホーム
209	暑いやろ？ バリカン片手に 愛犬に問ふ
210	家でがんばっている あなたにけいれい！
211	いつまでも 松山に おりたいんよ・・・
212	紙いっぱい 書きました あなたの名前を
213	頑張った証の 破れた楽譜
214	ゴールのあとが くつきり パンダの子！
215	言葉がなくても 側に居てくれたら あったかい
216	ちゃんともってる？ でっかい心
217	でっけでっけ空 小っちゃ小っちゃ俺
218	トンボの休憩所 麦わら帽子 じいちゃん笑顔
219	寝てなよ 今日のうちが ごはん作るから
220	引っ越さないでよー
221	松本先生は 口調は恐いがいい人だ
222	めんどくさい けどがんばる
223	夢はとびら かぎは私
224	みんなの願いを ぎゅっと握って 生まれてきたんだね
225	うちら電源切れても繋がるとよ。
226	亡き父の靴 履いて出かける入社式
227	「宝物だ」と言ってくれた あなたが私の、タカラモノです。
228	「どうぞ」と8歳「ありがとう」と80歳
229	「もう、おこるよ！」もう、おこつとるくせに！ ねえ、母さん♡
230	「心と心がつながれば、不思議な力が湧いてくる」
231	お母さんが 弟を「ギュッ」 今度はぼくかな ドッキドキ
232	弟が、なっていたから笑わせた。
233	おばあちゃんをつくる、いなりずしは、たのしいね。
234	母さんの涙はゲンコツより 強烈な先制パンチでした
235	きみと ずっと なかよし ※(先頭文字を縦に読むと、「きずな」)
236	しあわせもリンゴのように分ける母
237	祖父と父と僕の 耳の形は同じらしい。 不思議で うれしい。
238	ばあちゃんうちおいでや
239	方言まるだしの その声が、イッキに 故郷を連れてくる。
240	もしも道をそれたって家族みんながカーナビです
241	幽霊はコワイけど、おじいちゃんになら 会いたいな。
242	縁あってライバル
243	介護椅子 母の笑いは ハヒフヘホ
244	古本屋で買った本に、 誰かの葉がはさまって いた
245	赤い糸、50年経ったら金の糸
246	退職し 帰りました松山に 還暦過ぎて マドンナと

247	父さんの汚れた作業着 どんなヒーローよりも カッコいい、今でもね
248	僕の名を言えなくても 僕の顔を忘れても あなたは僕の父。
249	「ありがとう」わずか五文字の思いやり
250	「ありふれた名前だけどパパとママが一生懸命考えてつけました」
251	「お茶いれようか」 頃合絶妙母時計
252	「お母さんみたいな お母さんになりたいな」 娘にもらった通信簿
253	「かあさんの瀬戸内の 小学校、 尋ねあてましたよ」
254	「可愛いネ」の一言で 生き生き活きるおばあちゃん
255	「しゃんとせんか。」 あのことばの 温かさ
256	「どうしたの」よその子 我が子 区別なく かける言葉は 心の使い
257	〇(えん)は エンドレス
258	あっちむいてホイッ！ 心はずっとあなた向き
259	あなたの笑顔が 私のつかい棒
260	あなたを支える人がいる。 あなたが支える人がいる。
261	いつのまに 磁石を 飲みこんだのかしらね わたしたち
262	受けとった 君のバトン は 僕がつなぐ
263	お母さんの「ムギュー」 幸せのおまじない
264	お腹に宿った小さな君、 今じゃ 頼れる 大きな存在！
265	おばあちゃんのシワの手と 小さかった私の手 今も温もり消えぬまま
266	親父ありがとう の一言で 苦労が喜びに 変わった。
267	かぞくはみらいへのつばさ(家族は未来への翼)
268	貴重品を手から離すなど場内放送。 慌てて孫の手を握ったなあ。
269	君と笑顔を量産中！
270	きみの傷口に わたしの絆創膏
271	ぐー結びの絆！
272	クレヨンで描いた 「だいすき」 ママの たからものだよ！！
273	ご近所のあいさつ 災害時の力
274	コトバつむぐ。 ココロつながる。
275	こどもには、半分こして大っきい方
276	この父を育ててくれた子へ感謝
277	この風は 私と地球の 赤い糸
278	じいちゃんは、 笑顔の数が、 シワの数。
279	そっくりなその仕草。この子の中にあなたが生きてる。
280	助けてあげたと 思っていたら、 いつも誰かに 助けられていた。
281	ちょっとやそつと失敗したって10年後には忘れとる！
282	つまらんところが、 よう似とらい やっぱ、親子じゃけん
283	なあ、息子 親も褒めたら 伸びるんだ
284	なあ婆さん、昔みたいに手繋いでみるかな。
285	なつかしい 母のいびきは 子守唄
286	年中無休で あなたが だいすき！
287	百才まで、たった七年と母が笑(え)み。

288	ビンタより効いた親父のほめ言葉
289	へその緒が切れても 母とずーっとつながってる！
290	僕の家族はごった煮だ 見ためは最悪 味は最高
291	ぼくらは、いいとこさがしのたんけんたい
292	ほどけんね、ばあちゃんの玉結び
293	まいごにならない。だってママにそっくりだもん。
294	みーんなみんな、誰かを支えて 生きとんよ！
295	みんなで食べたら おいしいね。
296	やさしくすると やさしくされる
297	私にちょうだい。じいちゃん ばあちゃんの知恵袋
298	愛情ぎゅうぎゅうづめ ひとはこ あす、宅配便でおくる
299	縁側にすわって 陽にあたろう
300	家のご飯は7つ星
301	家族の絆、極太です。
302	許しあえる 結びつき。
303	君といると スキップしたく なる
304	君にとってはただの一言。僕にとっては支えの一言。
305	見慣れたよ、でも見飽きない君の顔。
306	故郷(ふるさと)離れ 手が伸びるのは 愛媛産
307	幸せを 欲張らないで おすそ分け
308	子が3人 100÷3ではないよ 100×3だよ
309	子をつなぐ手が、孫をつなぐ手に
310	私が忘れた人たちも、今の私を支えている。
311	時々 結び直す 絆かな
312	手をつなぐとね 大きな輪っかが できるんだ
313	少しだけあなたの歩幅に合わせてみるの
314	誰かの右手と 誰かの左手を 繋いでいる この手
315	凸凹の私たち、二人でいればいい形。
316	二世帯の 隣すき焼き うちうどん
317	父さんの力瘤は 富士山みたいだった
318	父さんは 家族の前だけ、おちゃめです。
319	父の 真っ黒な爪は ダイヤモンド
320	娘が選んだ おそろいの キーホルダー チリリとなるたび うふふと笑顔
321	明日も会いたい人がいる。
322	用も無い 電話に親は 安堵する
323	絆を感じるそんなとき 世界はまあく見えてくる
324	「ふるさと」をようけ詰めて送るけん
325	終わった恋に寄りそってくれたのは千年前のことばだった。
326	1年生の娘の置手紙「今日は朝たべない、コイをしているから。」
327	鈍行で行け、周りが良く見える
328	ばあばにだって、将来の夢あるぞ！



329	君の好きな所は一人にしてくれるのに、ひとりぼっちにはしない所
330	母さん、自分をたまには褒めてください。もう十分合格点です。
331	ふるさとの駅に降り立てば磯の香り 住んでた時は知らなかった
332	高2娘の反抗期「弁当うまっ」で 一時休戦
333	「チンしてね」のオカンの字。あったかい。
334	作業着に、父さんの 生き方包む
335	逢いたいのにもどらんでいいと言う親心
336	山が泳いでいるね飛行機の窓見て教えてくれたわが子の愛しさ
337	おふくろと出掛ける時は、おふくろの歩幅で歩く
338	母の愛は常に全力 だからぶつかった時は メチャクチャ痛い
339	想いはきっと、wi-fiよりも飛び交っている。
340	家族って毛糸みたい こんがらがって あったかい
341	いつまで昨日のおまえているつもりだ！？
342	まんまるで、さんかくでも、しかくでもいいから、生きていて
343	息子よ！アンタの ファーストキスは 母ちゃんと済んどんよ
344	「今年も蜜柑は甘いよ」父の電話は帰っておいでの合図
345	わしゃ スマホは持ちちょらんが 想いはいつも携帯しちよる
346	じいちゃんの教えは 守る ばあちゃんの想いは つなぐ
347	甘くて優しいのが松山の味やけん
348	息子に身長、抜かされた。負けることが嬉しいなんてね。
349	ことばってウイルスにもワクチンにもなるよね
350	お母さんがわたしを忘れたら、わたしが一番の友達になるよ
351	しあわせはしわとあせとで できている
352	平和もダウンロードできたらいいな。
353	口うるさい母に 花束を贈ったら 黙ってしまった
354	リモートで 会えたらいいな 亡き夫
355	「ただいま」と言って 心のマスク外します。
356	「巻き戻したら帰ってくるかな」、遺品の時計を手に母が涙ぐむ
357	だしのきいた 寄せ鍋みたいな ウチの家族 私の元気の素やなあ
358	人の言葉に傷ついたってお前、生のまま丸呑みしたんじゃないか。
359	意地っ張りの私だから、マスクの内側でこっそり「ありがとう」
360	日曜朝 僕の上に長女、次女、三女 そんな幸せミルフィーユ。
361	ほうなん、ほしたら一緒に頑張ろうね。
362	背中を押さない。一緒に歩きたいからね。
363	人の夢に、しょぼいもえらいもあるもんですか！！
364	「幸せになれよ」短い父の言葉で雨があがったバーจินロード。
365	「行ってらっしゃい」と「お帰りなさい」は、幸せの往復切符。
366	よーしゅんどる あんたの想い
367	目標は、母のような人に。そして、父のような人と。
368	人はことばを食べて、感情を育てるんだ
369	「ぼくだってなやむの。」って、嘆く息子3歳2か月。

370	「大っ嫌い」は口から滑るのに、「ありがとう」はつかえる。
371	期待通り、それはつまらない。期待外れ、そこからが面白い。
372	あの人たちが生きたこの町で、言葉のお湯につかりたい。
373	ばあちゃん腰は曲がったけど、気持ちはまっすぐやねー
374	ムダなことが生きることを豊かにすると気がつきました
375	また来年 あたり前に来ると思っていたよ あの日まで
376	君が僕の意味になる。
377	「あれのあれをあれしといて」で伝わるカレ
378	雨の日の曇りガラスのようにはっきりしなかった僕の言葉よ
379	震える文字が並んだ 食べたい物リスト 夫が遺したラブレター
380	想いは、密でよし！
381	ハッシュタグつけるより、君にダッシュしてハグしたいっ！
382	笑顔は画面越し。だけど、想いはすぐそばに。
383	転勤のたびに減る荷物、増えるふるさと。
384	昔あなたの背中にいた 私の背中に 今あなたがいる
385	シワが増えるのは嫌 でも貴方に増やされた目尻のシワは嫌じゃない
386	君の寝顔でママは充電してるんよ
387	雨が止んだ、光が戻った。君が笑った、それで良かった。
388	『ごめん』と『ありがとう』はその時言わんと後悔するよ
389	雨の日も太陽が消えたわけじゃない
390	顔立ちよりも顔付きで勝負
391	「おばあちゃん紅茶でいいね？」「あたしコーラがいいわ」
392	松山生まれ 筋金入りのよもだでいたい。
393	好きなものを増やしていくと、自分のことも好きになる。
394	「がんばりましたね」なんて言われ、AIでも泣きました。
395	逢えなくても同じ空の下。それだけで私の勇気。
396	母からの 想いは重い ダンボール
397	心の体温計があるなら、この想いを測ってみたい。
398	誰かを想って胸が痛むうちは、僕らは機械に負けていない。
399	家族に会いたい。地元に戻りたい。ただそれだけなのになあ。
400	大きく変わろうとしてるから大変なんだよ
401	あの日のわたしへ 唇噛みしめ 生きてくれて ありがとう
402	戦火を消す 世界みんなが消防士
403	湯(ゆ)ったり本(ほん)のり いで湯と文学のまち
404	「行ってこうわい」は方言と知った旅立ち
405	「かまんのよ。」心の糸をほどく 魔法の言葉
406	あなたがお箸で私がお茶碗。大事に使えば一生もん。
407	長い長い言い訳よりもたった三文字「ごめん」
408	あなたの人生のエンドロールに、私を載せてくれますか
409	「お」ンライン「も」う慣れたけど「い」つか また
410	今。今。今。今は今だけ。今をつないで、人生って続くんた。

411	夏に夏らしいことをしたいと想った 特別な夏
412	「ふう」よりも「ほっ」そんなまちに住みたい
413	ありがとう 言えぬ背中に そっと一礼
414	ゆっくりと、交わす会話の、“好き間”がすきよ。
415	おふくろのふくろはいつでも、いつまでも子供をつつむふくろです
416	いつでも 帰ってきて ええけんね。
417	母のエプロンし お袋の味に挑戦 明日は あなたの四十九日
418	30文字じゃ、到底伝えきれないから、今から会いに行く。
419	お洒落なイタリアンより君と肉まん半分こしたい
420	下を向くより、みかんをむこう。
421	生きるのに「意味」なんていらなくない？
422	お母さん、ぼく、晩御飯はゆうやけ食べたいな。
423	薄味がずうっと続く濃い愛情